

			図書の記号・番号	情 I 007-901
番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
1	10	10	近年、店舗のレジでの支払い方法も変化し、 Point Of Sale → p.144 POS システム が広く導入されるようになった。また、電子	Point Of Sales → p.144 POS システム
	144	14	このようなシステムのことを Point Of Sale POS システム という。	このようなシステムのことを Point Of Sales POS システム という。
2	21	5	▼ 解 答	▼ 解答例
	25	18	▼ 解 答	▼ 解答例
3	25	19-21	(1) 個人で見るのはよいが、コピーを不特定多数の人たちに配るのは複製権の侵害になる。テレビ番組によつては、実演家の著作隣接権の侵害になることもある。テレビ番組全般は、映画の著作物に相当する。	権や頒布権の複製 よつては 全般は
4	42	20-21	また、図 1 の表のように時間の経過に沿って並べられたデータを 時系列 という。なお、系列と項目は、観点によって入れ替えが可能な場合もある。	時系列データ
	204	左から 2段目 下から 30行目	シグニファイア▶ 47 時系列▶ 42 自己評価▶ 17	時系列データ

				図書の記号・番号		情 I 007-901																																																															
番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文																																																																	
	ページ	行																																																																			
5	116	19	(2) プールの底面積を 250 m ² 、最初の水の高さを 2.00 m、最初の流出速度を 10.00 m ³ /分として、プールの水を抜くときの 1 分ごとの水の高さを、表計算ソフトウェアを使ってシミュレーションしなさい。 水の流出速度 はプールの水の高さによらず一定とする。	(2) プールの底面積を 250 m ² 、最初の水の高さを 2.00 m、最初の流出速度を 10.00 m ³ /分として、プールの水を抜くときの 1 分ごとの水の高さを、表計算ソフトウェアを使ってシミュレーションしなさい。 比例定数 はプールの水の高さによらず一定とする。																																																																	
6	118	例題 1 図 (二重波線下)	<table><tr><td>52</td><td>49</td><td>4</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>12</td><td>1</td></tr><tr><td>53</td><td>50</td><td>4</td><td>16</td><td>16</td><td>16</td><td>13</td><td>1</td></tr><tr><td>54</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>55</td><td></td><td></td><td colspan="4">すべての賞品が集まったときの回数</td><td>6</td></tr></table>	52	49	4	16	16	16	12	1	53	50	4	16	16	16	13	1	54								55			すべての賞品が集まったときの回数				6	<table><tr><td>52</td><td>49</td><td>4</td><td>16</td><td>12</td><td>9</td><td>12</td><td>1</td></tr><tr><td>53</td><td>50</td><td>4</td><td>16</td><td>12</td><td>9</td><td>13</td><td>1</td></tr><tr><td>54</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>55</td><td></td><td></td><td colspan="4">すべての賞品が集まったときの回数</td><td>6</td></tr></table>	52	49	4	16	12	9	12	1	53	50	4	16	12	9	13	1	54								55			すべての賞品が集まったときの回数				6	
52	49	4	16	16	16	12	1																																																														
53	50	4	16	16	16	13	1																																																														
54																																																																					
55			すべての賞品が集まったときの回数				6																																																														
52	49	4	16	12	9	12	1																																																														
53	50	4	16	12	9	13	1																																																														
54																																																																					
55			すべての賞品が集まったときの回数				6																																																														
7	60	17	た部分を明るくして反対側を暗くする、などの方法がある。この方法を応用したり、透明なスクリーンや高速で動くディスプレイに表示したりすることにより、 擬似的 に立体物にみせることができる。	擬似的																																																																	
	167	9	の両方に関係する別の要因(因子)が存在する場合がある。この要因のことを 交絡因子 (交絡変数)といい、 <i>x</i> (原因)と <i>y</i> (結果)の間の関係を 疑似相関 という。交絡因子が存在する場合、交絡因子が真の原因の可能性はある。						疑似																																																												
	167	15	がったからといってアイスの売上が上がるとは限らない。この両者の間には互いに因果関係はなく 疑似 相関となる。また、このとき気温が交絡因子となる。	疑似																																																																	

番号	訂正箇所		原 文	訂 正 文
	ページ	行		
7 続き	167	図11	図11 交絡因子と疑似相関(左)とその例(右)	(左側の図) (右側の図) (図ネーム) 疑似相関
	203	右から1段目 下から4行目	疑似相関……………▶ 167 機種依存文字……………▶ 56 基礎情報学……………▶ 5 機能的分化社会……………▶ 173	疑似相関